

志和池中学校だより



令和8年1月号 文責校長

一月一日の気持ちを、いつまでも

本日から第3学期が始まり、校舎に生徒たちの元気な声が戻ってきました。子どもたちの笑顔を再び見ることができ、大きな喜びを感じています。

さて、年の初めにあたり、私が大切にしている星野富弘さんの詩をご紹介します。

「笑顔であいさつを交わし 小さなことにも喜び 嘘を言わず 悪口も言わず
全てのこと感謝し 人の幸せを祈る 一月一日の気持ちを皆が皆 十二月三十一日まで
持ち続けていられたら 美しい国になる」

私は新年を迎えるたび、この詩を思い出します。「一月一日のような清らかな気持ちを、誰もが一年間持ち続けることができたなら、どんなに素晴らしいだろうか」と、背筋が伸びる思いがするのです。

3学期は短い期間ですが、次なるステップへの大切な準備期間でもあります。いつも心の中に、この「一月一日の清らかな心」を宿し、一日一日を誠実に過ごしていきたいものです。

志和池中生としての誇りを胸に —感謝・自立・挑戦—

～始業式で生徒に次のようなお話をしました～

この3学期、皆さんに願うことは、これまでと変わらず「感謝」「自立」「挑戦」の3つです。

一つ目は「感謝」です。3学期は、特に3年生にとって「卒業」という大きな区切りを迎えます。この志和池中学校で、この仲間と過ごす一日一日は、支えてくれた方々へ「ありがとう」を伝える大切な時間でもあります。身近な小さなことにも感謝を言葉にし、行動で示せる志和池中生であってください。

二つ目は「自立」です。自立とは、自分で考え、判断し、自分の行動に責任を持つことです。進級・卒業を控えた今、自分のことはもちろん、学級や学校の課題に対しても「自分にできることは何か」を考え、率先して動く——。そんな「主体性」を持った自立を目指しましょう。

三つ目は「挑戦」です。3年生は今、自らの進路を切り拓く大きな挑戦の真っ只中にいます。1・2年生は、次年度への準備として、「苦手に立ち向かう」「新しい役割に立候補する」といった小さな挑戦を積み重ねてください。失敗を恐れず、挑み続ける姿を期待しています。

「感謝・自立・挑戦」を胸に、この3学期が皆さんにとって実り多く、心豊かな成長の時となることを心から願っています。

あけましておめでとうございます。旧年中は本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本日より3学期が始まりました。今年度の締めくくりとして、一日一日を大切に、子どもたちが笑顔で充実した学校生活を送れるよう努めてまいります。本年も引き続き、温かいご支援をよろしくお願いいたします。



学年代表の3名が「3学期の抱負」を立派に発表しました。